



秋葉区「九条の会」事務局

新津教育会館内

新潟市秋葉区善道町2-9-44

Tel 0250-23-0764 Fax 0250-23-0764

<http://9jo.iinaa.net/index.htm>

戦争法廃止！ 野党は共闘！

秋葉区「九条の会」10周年のつどい

と き 5月22日(日) 14:00~16:00
会 場 新津健康センター はつらつホール

記念講演 アベ政治から教えてもらったもの
～ 市民の力で日本はどう変わるのか ～

講 師 金子修 弁護士(市民連合@新潟、共同代表)

2005年12月10日、180人が集って「秋葉区 九条の会」を結成し、この10年間、「戦争反対!」「憲法9条を守れ!」の声を発信し続けてきました。

昨年9月19日に「安保関連法」が成立しました。安倍首相は今、参議院選挙で憲法改正の発議に必要な「3分の2」の議席を「改憲勢力で占める」と発言しています。一方、安倍政権の暴走政治にたいして国民の怒りの声が渦巻き、「戦争法廃止」「立憲主義の回復」「野党は共闘」の声が盛り上がっています。

この重要な情勢の中で、私たちは「発会10周年」を迎えました。会員の皆さまから誘い合わせて頂き、多くの参加者で「10周年のつどい」を成功させたいと願っています。新潟市民連合の金子修共同代表の記念講演を力にして、「戦争反対!」「9条守れ!」の運動を、決意新たに進めたいと考えています。



協力券(500円)へのご協力をお願いします!

「秋葉区九条の会」の活動資金は、入会金(200円)と寄付金でまかなっています。事務局では、会報もできるだけ送料がかからないように努めるなど、経費の節約に努力をしています。

一方、講演会の企画や会報の発行などには、活動資金が必要です。そのために「秋葉区九条の会」の活動を支える『協力券』を500円で発行しています。多くの皆さまのご協力をお願いいたします!

尚、入場は無料で、『協力券』は講演会の入場券ではありません。

戦争させない! 戦争に行かせない!
その思いを「2000万人統一署名」に!

「戦争法」廃止を求める統一署名(2000万人署名)の取り組みを、多くの団体が進めています。

2014年総選挙の自民党比例票が1800万票です。それを上回る2000万票を集めて、その力で「戦争法」を廃止させ、立憲主義を取り戻しましょう!

集まってください!

新成人の皆さんに「憲法9条大好き、戦争きらい!」の「宣伝行動」をします。行動時間は、午後1時から1時間程度です。

5月3日(火) 12時45分

集合場所 秋葉区総合体育館前

安全法制の廃止と立憲主義の回復をめざす

3.19 秋葉区大集会 260人が集う！

3月19日、新津健康センターを会場にして「安全法制の廃止と立憲主義の回復をめざす秋葉区大集会」に260人が集いました。この大集会は、「新津地区平和をを求める連絡会」「アフリカヘ毛布をおくる会」「憲法ネット・戦争をさせない1000人委員会」「秋葉区九条の会」の四団体でつくる実行委員会が主催しました。

四団体の代表による挨拶などにつづいて、「市民連合@新潟」の共同代表を務め、新潟国際情報大学の佐々木寛教授から「新しい政治を求めて～安保法制の廃止とその後～」と題した講演がありました。

講演は最初に、「四団体共同の集会」について「昨年夏から29回の“スタンディング行動”や平和集会など」の共同行動の積み上げがこの集会に繋がっており、敬意を表するとの話から始まりました。講演内容は「新潟の野党統一候補調整の進展」「安保法制の危険性」「安保法制廃止の道筋」「私たちがすべきこと」…等々多岐にわたり、沢山の質問も出され、大きく盛り上がった集会になりました。最後に「安保法制の廃止と立憲主義の回復を求め、野党統一候補で参議選に勝利するアピール」を採択して集会を終了しました。



「秋葉区大集会」に参加して

上杉 あさ子（草水町）

朝、「民主、菊田氏の出馬撤回」「統一候補、森氏で検討」の新聞報道をみて、新潟でも展望が開けるとの喜びを胸に秋葉区大集会に参加しました。

九条の会、板橋事務局長のあいさつにあった「新津で志田革新市政誕生の闘い」以来の共闘が実現。そして、今ワクワク、ドキドキの情勢とのお話は、私達の心もワクワク、ドキドキさせてくれました。

佐々木先生の講演でそのワクワク・ドキドキが裏づけられました。今の政治状況は、代表制が制度疲労をおこし、国民の声に答えられなくなっている。国民が声を上げ、新しい政治の方向をきりひらけるか、安保関連法は成立したけれどもピンチはチャンス、立憲主義の回復と新しい政治への契機としよう。そのためには何をなすべきか、普通の生活をしている私達こそ、まわりの人達といっしょに「安保保障とは何か」「私達の生活とどうかかわっているのかを考え」「選挙の意味と政治参加への呼びかけをすすめていこう」というお話でした。私には安保関連法を廃止したらどういふ展望が生まれるかという視点が新鮮でした。法案が通っても全国各地で運動が広がり、参院選にむけて統一候補が生まれています。この過程こそが、新しい日本をつくっていくことなのだワクワクします。そして、今地域から「新しい社会」の具体像を示していくことが重要で、その分野はエネルギー、食料、農、ケア、福祉だと話されました。私は今、地域でお茶の間を開き、生活支援を行いながら、高齢者のくらしにくさに少しでも寄り添い、行政にも反映できればと、仲間とともにすすめています。この活動も新しい社会をつくっていくささやかなひとつと改めて位置づけたいと思いました。そして、新潟にもひとりからでも立ち上がった青年がいるのだとはげまされました。署名を少なまけていましたが、戦争法廃止をめざしてがんばります。